

沼津夜間救急医療センターの 使途不明金に対する本市の責務

問 市長が負うべき責任を明らかにしない姿勢を市民は理解するのか。

答 市民福祉部長／三市三町の住民に説明をするときには、全容が見えてきた段階で、再発防止策を示すべきだと考えている。まずは、警察の捜査に全面的に協力するというのが私どもの考え方である。

問 二市三町からも指摘されたチーム体制の甘さ及び条例の認識不足について。

答 市民福祉部長／損害保険会社から入金される医療費（保険金）が、どのような経緯で現在の収入の仕方



▲使途不明金が発覚した
沼津夜間救急医療センター

になったのかは不明である。その辺りも含めて、これから警察の捜査により全容が分かった時点で、何が足りなくてどうすべきであったのか分かってくるかと考えている。

山下 富美子



点滴チューブが切断された 事件の概要は

問 沼津市立病院における点滴チューブの切断等の事件について、①概要は。②再発防止の取組は。

答 病院事務局長／令和六年二月に、当院に入院していた患者の点滴チューブの切断や、体内に留置していたカテーテルが抜去された事象が発生した。院内で調査と協議を重ね、第三者による行為の可能性が考えられたため、警察に相談を行い、被害届を提出した。その後、警察の捜査で、当院の元職員が点滴チューブの切断に関して器物損壊の疑いで逮捕され、さらにカテーテルの抜去に関

して威力業務妨害の疑いで再逮捕されたが、いずれも処分保留となった。②再発防止に向けては、原因不明の事象に対し、従来の担当部署の調査に加え、医療安全管理室が早期に介入し、調査・対応できる体制を院内に整えるとともに、全職員に対して、当院の顧問弁護士を講師として医療機関に特化した内容のコンプライアンス研修を開催し、意識の向上を図っている。今後は、このような事態が発生することのないよう、これらの再発防止策を講じながら、さらなる信頼回復に努めていく。

江本 浩二



電子地図情報を活用した 情報発信を導入する考えは

問 電子地図情報を活用した情報発信を導入する考えは。

答 政策推進部長／現在、本市では、災害情報を一元的に共有するシステムの構築を行っており、今後、各種ハザードマップ、避難所の位置や開設状況、道路の通行止め情報などを電子地図情報として公開する予定である。また、庁内で使用している地図資源を一元管理する統合型地理情報システムについても、次期システム更新の際に、市民への公開機能の導入を検討していく。

問 令和五年十月の本市盛土条例の改正内容と効果は。

答 都市計画部長／本市盛土条例の改正点は、県盛土条例の規制の及ばない小規模な盛土を規制するとともに、条例の適用範囲を市街化調整区域から市内全域へと拡大、周辺地域の住民等に対する事業内容の周知の義務化、土地所有者に対する改善措置勧告を規定するほか、罰則を地方自治法の上限まで引き上げたことが主なものである。これにより、市内全域において不適切盛土の防止、是正に対する指導体制が強化されたと認識している。

久保田 吉光



新貨物ターミナルの位置づけは

問 本市西部地域の物流拠点化に向けて、①新貨物ターミナルの位置づけは。②企業誘致に対する考えは。

答 市長／①新貨物ターミナルは、鉄道高架事業に伴い現貨物駅機能を移転するものであるが、長距離かつ大量輸送を担う鉄道輸送の拠点が当地に移転することで、鉄道・海上・自動車輸送が相互に連携した物流拠点として重要な役割を果たす施設になると認識している。また、物流の効率化、環境負荷の低減を図るモーターシフトの促進及び周辺地域の発展に資する施設になると捉えている。

産業振興部長／②本市西部地域は、新貨物ターミナルや東駿河湾環状道路の整備が見込まれていることに加え、海上輸送の拠点である田子の浦港と近接していることから、様々な物流手段に対応できる、広域的な物流拠点としてのポテンシャルが高い地域である。こうしたことを踏まえ、企業訪問や産業関連イベントへの参加など、様々な機会において積極的なPRを行うとともに、事業者の意向を踏まえながら土地利用についての検討を行うなど、企業誘致に向けて取り組んでいる。

川口 慶

